

広報

お知らせ版

かまいし

ラグビーワールドカップ 2019™

大会開催(9月20日)まで

あと **111**日

釜石会場キックオフ(9月25日)まで

あと **116**日



「大震災かまいしの伝承者」を募集します

市は、東日本大震災の出来事や学んだ教訓など、必要な知識を身に付け、震災を忘れることなく将来に語り継いでいく「大震災かまいしの伝承者」(第1期)を募集します。

■応募できる人

大震災の出来事を語り継ぐことに意欲がある人
※年齢や経験などは問いません。どなたでも応募できます

■伝承者の活動

- 家庭など身近な人に大震災の出来事を伝え、災害時の避難の仕方話し合うなど、災害に備え災害から身を守る意識を高める活動
- スキルアップ研修などで身に付けた知識や手法により、来訪者など不特定多数の人に対して、震災の出来事などを相手の求めに応じ語り伝える活動

■研修内容

- 伝承者としての自己啓発、共通認識の習得などを目的とした基礎研修(必須:6月29日(土)開催予定)
 - 伝承者のスキルアップを目指す研修(任意)
- ※基礎研修修了後、伝承者証をお渡しします

■応募方法

- 応募申込書に必要事項を記入の上、市総合政策課 震災検証室へ持参するか、郵送、メール、FAXで提出してください
- 募集要項、申込書は、市総合政策課 震災検証室、各地区生活応援センター、いのちをつなぐ未来館に備え付ける他、市のホームページからダウンロードできます



■応募期限(第1期) 6月14日(金)

■申し込み・問い合わせ

市総合政策課 震災検証室
〒026-8686 只越町3-9-13
☎27-8413 FAX22-2686
✉sougou@city.kamaishi.iwate.jp

胆大心小

たんだいしんしょう…強い勇氣、大きな志と共に、細やかな思いやりの心で真の復興へ

釜石市長 野田武則

人口減に直面している地方都市にとって、移住者の確保は都市間の競争です。活気に満ちた魅力あるまちづくりで、釜石にお住いの人はもちろん、移住を検討している人にもまちを挙げて応援するよう取り組みが、これからの釜石には必要だと感じています。

定住促進に向けた施策として、条件付きで30万円を上限に結婚新生活を応援する制度や、100万円を上限に釜石に転入して家を建てる人、買う人への補助制度、釜石に転入し、看護師や保育士などの市内の福祉分野の事業所で働いている人への福祉人材型の支援制度などがあります。

道路が完成し、三陸鉄道がつながり、復興後のまちの形が見えてきました。これからの釜石の発展のためには、復興後を見据えた少子化対策、人口減対策は喫緊の課題です。そういう中で、釜石で結婚し、釜石に住み続けていただくことはとても大切なことです。

先日令和元年5月1日という記念の日には、9組の婚姻届を受けました。これは釜石のほぼ1カ月分の件数で、私も何組かお出迎えすることができ、非常にうれしく思います。

まちを挙げて「住むなら釜石」

